

【教育目標】  
人間尊重  
自己実現  
心身の健康

# 小園中だより

TEL.06(6493)0280 <http://cen-web/school/j22/index.html>

令和2年度  
12月7日  
(月)  
第9号

新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方が亡くなり、今なお治療されている方がおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。みなさん、「早寝・早起き・朝ごはん」は続いていますでしょうか。

私が小中学生のころ、終業式で校長先生が次のような話をしてくれていました。「長期の休みになります。次のことに気をつけて生活しましょう。一つ目は自動車に気をつけることです。忙しくなると自動車もスピードを出して走りがちです。交通事故に気をつけましょう。二つ目は、家の手伝いをすることです。大掃除などお家の人は忙しくなります。少しでもお手伝いをしましょう。三つ目は、日記をつけましょう。一日を振り返ることは大切です。元日からつけはじめましょう。」これは昭和時代の話ですが、今の令和時代にもこの三つの注意のお話は、とても大事な内容だと感じます。今の時代に合うように言いますと、一つ目の交通事故では、皆さんがいつも乗る「**自転車**が加害者になる」ことが新たな注意点です。道路交通法改正に伴い、車道を左側通行することが原則になりました。自転車の歩行者との事故で、何千万という高額賠償が発生することもあります。自転車保険の加入も必要になっています。二つ目の手伝いは、今も昔も同じです。家族の中での自分の役割をしっかりと果たしていきたいのと、家事は男女に関係なく担う時代です。三つ目の日記ですが、近年SNSに自分の動画をアップさせ、トラブルに巻き込まれる事案が多数発生しています。個人情報公開には注意しましょう。

大切なことは、今も昔も同じようです。

## 【ミマモルメの登録をお願いします】

まだ、「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。コロナなどによる臨時休校やその後の対応、家庭学習について等、緊急で大切な連絡については、ミマモルメにてお知らせいたします。学校の電話回線数では緊急連絡は困難な状況です。どうぞよろしくをお願いいたします。

## 【みんなで感染拡大予防を】

新型コロナウイルス対策では、みんなで協力して3つの密を避けることに心がけましょう。県内、市内での感染者が急増し、感染の第3波だとも言われています。本校においても、学校関係者や保護者の濃厚接触者が増加してきています。先週の臨時朝礼で生徒たちに次のような話をしました。「…みなさんも、ご家族の方もとても心配されていることと思います。ご家族の中には、お仕事に行けなかったり、妹や弟も学校を休まなければならない人も多くいたことと思います。そして、当たり前前の学校生活が、家庭での生活が当たり前でなくなっていました。…新しい生活様式でしっかりと過ごしましょう。マスク着用・手洗い・換気、そして、特に人との距離を取る事、ソーシャルディスタンスです。自分も相手も濃厚接触者にならない、させないことが大切だということですね。また、登校する前には必ず、体温計での検温・自己健康観察、そして、風邪の症状があれば登校を控えましょう。それが皆さんの感染予防につながります。…一部の心ない人は、感染した人をあたかも新型コロナの加害者にしてしています。けっして加害者ではなく、新型コロナの被害者なのです。…悪いのはコロナウイルスであって、感染者の方ではありません。

せん。今、全国各地で集団感染、感染拡大が起っています。兵庫県は感染拡大期、尼崎市内でも再び増えつつあります。…もしも、これから感染者が小園中学校から出たとしても、その人をせめたり、いじめたりしないで下さい。…。小園中学校の皆さんは、このような時にこそ、弱い人を守ることができる人、思いやりを持つことができる人になりましょう。それが人としての良さでもあり、人としての務めだとも思います。これからは、コロナウイルスと共存していかなければなりません。気を緩めることなく、自分たちができる限りの事をして、みんなで新型コロナウイルス感染予防を行っていきましょう。」ご家族の皆さまもご心配のことと思います。今後ますます感染拡大が予測され、いつ、どこで、誰が感染するかはわかりません。生徒たちが学校、家庭、地域で仲間たちとともに、今の新しい生活を生き生きと楽しんでいけるよう学校と保護者・地域のみなさまと協力していきましょう。どうぞよろしくをお願いいたします。

## 【三者懇談会がはじまります】

学期末に予定されている懇談会で、担任と保護者と生徒との話を終えた後は、「よし、新たにがんばろう」「がっかりしてしまった」「焦って、イライラしてしまった」等、さまざまでしょう。しかし、決して諦めないで下さい。ここでの「諦め」は「逃げ」です。大切な心の成長期に、逃げる癖がついてしまうと、これからのきびしい社会の中で生き抜いていく上で大きなマイナス要素となるかもしれません。2学期、頑張ったけれど結果が思うようにだせなかったお子さまもおられることでしょう。しかし、精いっぱい努力したことは、必ず次に挑戦するとき、そのことが活かされますし、リベンジの力になることでしょう。特に3年生の懇談では、進路希望の最終確認と志望校の決定となります。ご家庭で、お子さまとごいっしょに「どの高校に行くのか」だけではなく、その学校で「何を学び」その先「どう生きていくのか」をしっかりと考える機会にしてください。お子さまが、これからの社会で生き抜いていく上で、物事に挑戦していく機会が沢山あります。「焦る必要はなく、でも怠けてはいけない、自分の未来のために、ちゃんと前をむいて」と励ましていただければと思います。本校教職員は、生徒たちの学習の取り組みを具体的に支援していきます。学級担任や教科担任によくご相談ください。

## 【すばらしいミニ体育会でした】

近隣の皆様には、大きな音を出すなどのご迷惑をおかけしました。ミニ体育会実施へのご理解をいただきましたことにお礼申し上げます。11月5日(3年生)、同月9日(2年生)、12月2日(1年生)、生徒たちは、一生懸命、そして楽しく取り組み、これまで学習してきた努力の成果を存分に発揮しました。生徒たちは仲間との「つながり」を感じながら、仲間と力を合わせ、最高の演技を見せてくれました。コロナ感染予防のため、本校の生徒たちの素晴らしい姿をご覧いただけなかったことは誠に残念ではございましたが、生徒たちは真剣な顔と笑顔で生き生きとして輝いていました。



### 【火災非難訓練を実施しました】

家庭で火を使うことが多くなる年末年始、いっどこで火災が起こっても不思議ではありません。11月25日に、本校において消防署の方々にご指導をいただき、火災避難訓練と水消火器による消火訓練を実施しました。今年は行事の関係で、小園幼稚園児たちは参加できませんでした。どの生徒たちも真剣に、運動場への避難に取り組みました。ちょうど訓練前にも、各地で火災発生していました。避難訓練では、担任の先生から事前指導があった避難のポイントを確認しました。避難するときは「おはしも」の合い言葉です。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」です。この合い言葉を守ることができて、指示通りに避難できました。ご家庭や地域においても自分がいるところからできるだけ近い避難経路で、安全な場所に、速やかに避難してください。ご家庭でも、地域でも「そなえよつねに」で心がけをお願いします。



### 【修学旅行に行ってきました】

3年生は、12月2日に楽しみであった日帰り修学旅行でネスタリゾート神戸へ行ってきました。とても良い天気恵まれ、たくさんのアトラクションを楽しみ、全員元気に帰ってくることができました。コロナ対策ということで宿泊を伴う修学旅行ではありませんでしたが、学校を離れ、ふだんの生活では経験できないことを、広い自然の中で友だちとの絆と思いやりを大切にしながら活動することができました。施設の方がたのご協力に感謝し、思い出に残る学習ができました。しっかりと感染対策を講じながら、1人ひとりが、小園中学校代表としての自覚と責任をもった行動ができたことも大変嬉しく思います。この修学旅行の体験が、良い思い出になると信じています。



### 【令和3年度から新学習指導要領が実施になります】

新しい学習指導要領に基づく教育課程が令和3年度から始まります。小学校では令和2年度よりすでに始まっており、プログラミング教育、教科外国語が必修になっています。「学習指導要領」とは、全国どの学校でも一定の教育水準を保つことができるように文部科学省が作成し、各学校が教育課程(カリキュラム)を作る際の参考にする基準のことです。時代と共に変化する社会や子どもの様子に対応するために、およそ10年に一度改定されてきました。今回の改訂では学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」をバランスよく育成することがそのポイントと言えます。

改定の背景にはグローバル化の進展、少子高齢化と人口減少、環境問題への対応や持続可能な社会の実現、AI(人口知能)やビッグデータの活用の進展の社会情勢の変化があげられます。これから生きる子どもたちに必要とされる資質・能力を培うためには、学習内容の変更だけでなく、授業で「どのように学ぶか」といった視点が重要です。その視点が「主体的・対話的で深い学び」です。今では変わりつつありますが、日本人の学びの様相は、明治以来、知識の暗記重視、詰め込み教育ともいわれてきました。今日、子どもたちに求められる資質は、学んだ知識や技能を基に様々な課題に対し主体的・能動的に解決する能力であり、考える力を伸ばし、対話を通し深める学びの実現です。

今回の改訂では「主体的・対話的で深い学び」を、すべての教科等で積極的に取り入れることが求められています。たとえば、「見通しをもって作業したり、粘り強く取り組んだりする」「学習した内容を振り返り、次の学びに生かす」「グループなどの話し合いを深める」「これまで学んで得た知識をつないだり生かしたりして考える」などの活動を各教科等にふさわしい方法で取り入れるということです。

その際、生徒たちが、生徒同士や教師とはもちろん、時には保護者、地域の皆さまとの対話を通して深いまなびとなるように授業を工夫することが大切になります。

### 【新学習指導要領実施に向けての職員研修】

本校では、昨年度より、尼崎市教育委員会指導主事の指導のもと、新学習指導要領実施に向けた教員研修を実施し、研鑽を積んでおります。「主体的・対話的で深い学び」についての具体的な取り組みは、これからも学校だよりや公開授業等を通してお示しする予定です。



まもなく混乱の令和2年が終わります。

令和3年こそは平和な年、落ち着いて生活できる1年になりますように。

皆さま、今年1年間大変お世話になりました。来年もよろしくお願い申し上げます。

良い年をお迎えください。